

2025年度入試

英 語 編

《THE SUMMARY OF KKDR》

(A) KKDR 長文設問内容比較

▼ 関西大

	内容	出題数	占有率
1	英文中の空所補充	90 (90)	38% (38%)
2	内容把握	84 (84)	36% (36%)
3	語句・節の意味など	60 (60)	26% (26%)

★ 6学部各39題の計234題の出題 (昨年度も6学部234題)

★★ 昨年度より2月4日実施の学部個別日程は割愛

★ () 内の数値はいずれも昨年度のもの

▼ 同志社大

	内容	出題数	占有率
1	語い・語句の意味	113 (111)	42% (41%)
2	下線部語句・節の意味	50 (42)	18% (15%)
3	英文中の空所補充	44 (46)	16% (17%)
4	内容真偽判定	42 (40)	15% (15%)
5	語句の整序	14 (14)	5% (5%)
6	英文和訳	7 (7)	3% (3%)
7	その他	2 (13)	1% (5%)

★ 7学部計272題の出題 (昨年度は273題)

▼ 関西学院大

	内容	出題数	占有率
1	語い・語句の意味	84 (77)	42% (39%)
2	英文中の空所補充	62 (70)	31% (35%)
3	内容真偽問題など	44 (45)	22% (23%)
4	英文和訳	8 (8)	4% (4%)

★ 6学部計198題の出題 (昨年度は200題)

★ 英文和訳は学部個別日程だけの出題

▼ 立命館大

	内容	出題数	占有率
1	内容真偽判定など	50 (50)	43% (43%)
2	英文中の空所補充	40 (40)	35% (35%)
3	指示語の内容	25 (25)	22% (22%)

★ 語いの問題 (50題) は単独問題として別に出題

★ 5学部各23題の計115題の出題

(B) KKDR 英文中の空所補充問題比較

▼ 関西大

	内容	出題数	占有率
1	文脈のみ	50 (53)	56% (59%)
2	文脈+文法・構文	22 (16)	24% (18%)
3	文脈+イディオム	18 (21)	20% (23%)

(注1) 総出題数は6学部で計90題 (昨年度も6学部で90題)

(注2) 昨年度より2月4日実施の学部個別日程は割愛

(注3) パーセントの数値は小数点第一位を四捨五入したもの

▼ 同志社大

	内容	出題数	占有率
1	文脈のみ	18 (19)	41% (41%)
2	文脈+文法・構文	13 (17)	30% (37%)
2	文脈+イディオム	13 (10)	30% (22%)

(注) 総出題数は7学部で計44題 (昨年は7学部で46題)

▼ 関西学院大

	内容	出題数	占有率
1	文脈のみ	34 (31)	55% (44%)
2	文脈+文法・語法	17 (16)	27% (23%)
3	文脈+イディオム	11 (23)	18% (33%)

(注) 総出題数は6学部で計62題 (昨年は6学部で70題)

▼ 立命館大

	内容	出題数	占有率
1	文脈のみ	40 (37)	100% (93%)
2	文脈+イディオム	0 (3)	0% (7%)

(注) 総出題数は5学部で計40題 (昨年も5学部で40題)

(C) KKDR 文法比較

▼ 関西学院大

	内容	出題数	占有率
1	イディオム・構文	15 (20)	25% (33%)
1	語法・語い	15 (8)	25% (13%)
3	関係詞	8 (5)	13% (8%)
4	仮定法・時制	6 (7)	10% (12%)
5	準動詞	5 (7)	8% (12%)
6	接続詞・前置詞	4 (4)	7% (7%)
7	比較	2 (2)	3% (3%)
8	その他	5 (7)	8% (12%)

(注) 総出題数は6学部で計60題 (昨年も6学部で60題)

▼ 関西大

	内容	出題数	占有率
1	接続詞・前置詞	9 (3)	43% (20%)
2	関係詞	3 (4)	14% (27%)
3	準動詞	2 (3)	10% (20%)
3	仮定法・時制	2 (2)	10% (13%)
5	語法	1 (1)	5% (7%)
6	その他	4 (2)	19% (13%)

★★★ 英文中の空所補充問題で問われた文法問題

(注1) 総出題数は6学部で計21題 (昨年度は6学部で15題)

(注2) 昨年度より2月4日実施の学部個別日程は割愛

▼ 立命館大

	内容	出題数	占有率
1	語法	11 (7)	28% (18%)
2	時制・文型	5 (5)	13% (13%)
2	接続詞・前置詞	5 (4)	13% (10%)
2	準動詞	5 (9)	13% (23%)
5	関係詞・疑問詞	3 (3)	8% (8%)
5	代名詞	3 (2)	8% (5%)
7	仮定法	2 (4)	5% (10%)
8	助動詞	1 (1)	3% (3%)
8	受動態	1 (1)	3% (3%)
10	その他	4 (4)	10% (10%)

(注) 総出題数は5学部で計40題 (昨年も5学部で40題)

(注) パーセントの数値は小数点第一位を四捨五入したもの

★★ 準動詞は、不定詞・分詞・動名詞をまとめた総称

● 関西大 英語出題内容

■ 出題内容分析

	出題内容
[I]	《 A. 会話文中の空所補充 (5) 》 《 B. パラグラフの整序 (6) 》
[II]	《長文読解》 A. 英文中の空所補充 (15) B. 本文の内容に合う文の選択 (7)
[III]	《長文読解》 A. 下線部語句の意味など (10) B. 本文の内容に合う文などの選択 (7)

順位	内容	総出題数	占有率	配点率
1	英文中の空所補充	90 (90)	30% (30%)	30% (30%)
2	内容把握	84 (84)	28% (28%)	28% (28%)
3	下線部語句の意味	60 (60)	20% (20%)	20% (20%)
4	パラグラフの整序	36 (36)	12% (12%)	12% (12%)
5	会話文	30 (30)	10% (10%)	10% (10%)

(注1) 全学部とも 50題 × 各4点で200点満点

(注2) 総出題数は6学部 各50題で計300題 (昨年度も6学部で計300題)

(注3) 2月4日実施の学部個別日程は昨年度より割愛

(注4) () 内の数値は昨年度のもの

(注) () 内の数字は設問数

● 関西大 大問〔Ⅱ〕長文内容分析

■ 設問A 英文中の空所補充問題の内容

順位	内容	出題数	占有率
1	文脈のみ	50 (53)	56% (59%)
2	文脈 + 文法・構文	22 (16)	24% (18%)
3	文脈 + イディオム	18 (21)	20% (23%)

(注1) 総出題数は6学部各15題の計90題 (昨年度も6学部で90題)

(注2) 2月4日の学部個別日程は昨年度より割愛

■ 設問B 英文の内容に関する問題

順位	内容	出題数	占有率
1	内容理解 (段落指定)	33 (28)	79% (67%)
2	内容理解 (段落指定なし)	8 (12)	19% (29%)
3	英文のタイトル・要旨など	1 (2)	2% (5%)

(注) 総出題数は6学部各7題の計42題 (昨年度も6学部で42題)

(注) パーセントの数値はいずれも小数点第一位を四捨五入したもの

● 空所補充問題などの解答となる難単語の例

document (v)	challenging
practically (= almost)	arise
subsequent	combat A
comprise A	sophisticated
confirm A	diversify
counterpart	numerous
exception	enhance A
unknowingly	locate A
authentic	prestigious

★ () は意味

● 空所補充問題で狙われた知識問題例

make A of B	be obsessed with A
just as SV~	~, including A
make up A	hold on to A
leave A to B	look down on A
engage in A	merge A with B
wrap A in B	take off
sum up A	link A with B
embark on A	be forced to do~
switch A to B	blame A for B (= blame B on A)

★ () 内为空所に入る語句

● 関西大 大問〔Ⅲ〕 長文内容分析

■ 設問A 下線部語句の問題の内容

順位	内容	出題数	占有率
1	語句・文などの内容理解	28 (34)	47% (57%)
2	指示語の内容など	19 (16)	32% (27%)
3	語句・イディオム・単語の意味	13 (10)	22% (17%)

(注) 総出題数は6学部各10題の計60題 (昨年度も6学部で60題)

(注) 2月4日実施の学部個別日程は昨年度より割愛

(注) ()内の数値は昨年度のもの

【分類の基準】

《以下の設問文の問い方で分類》

- ▼ imply/ actually mean/ want to express most ~ ⇒ 内容理解
- ▼ refer to/ concrete example ⇒ 指示語の内容
- ▼ closest meaning/ mean ⇒ 語句・イディオム・単語などの意味

■ 設問B 英文の内容に関する問題

順位	内容	出題数	占有率
1	内容理解 (段落指定)	34 (31)	81% (74%)
2	英文のタイトル・要旨など	6 (6)	14% (14%)
3	内容理解 (段落指定なし)	2 (5)	5% (12%)

(注) 総出題数は6学部各7題の計42題 (昨年は6学部で42題)

(注) 3つの表中のパーセントは全て小数点第一位を四捨五入したもの

● 設問A 下線部語句中の単語やイディオムの例

単語	イディオム
nightmare	no big deal
shortsighted	be familiar with A
doom (v)	rule of thumb
matter (v)	link A to B
nearly (= almost)	get stuck
inherently	in A's own right
nurture A	when it comes to A
barely	be inclined to do~
competence	be concerned with A
genetically	take a break

● 関西大 英語長文内容

	2月1日	2月2日	2月3日	2月5日	2月6日	2月7日
〔Ⅱ〕	<p>長文読解</p> <p>「西モンゴルに位置するアルタイ山脈では、伝統的に鳥のイヌワシを使った狩猟が行われており、近い将来その伝統は途絶える運命にあるが、今でもカザフの若者たちの心身の成長などに少なからぬ貢献をしていること」</p>	<p>長文読解</p> <p>「からあげは今では日本を代表する国民食となっているが、毎年恒例の全国的な「からあげグランプリ」で最多の賞を受賞するのは大分県の中津市にある小さな店であることと、からあげの誕生から隆盛を極めるまでの歴史的な経緯」</p>	<p>長文読解</p> <p>「イギリスには誉れ高いアクセントの『Received Pronunciation(容認発音)』があり、社会的に地位の高い人や良い教育を受けた人の間で話されているが、時代の変化と共に、『Estuary』などの修正版も出てきて、その優位性が揺らいできていること」</p>	<p>長文読解</p> <p>「KFC(ケンタッキー・フライド・チキン)の社員が、日本にはクリスマスに食べる七面鳥がないと嘆いた客の声をヒントにチキンを代用品として宣伝したこと、チキンがからあげと似ており、抵抗なく受け入れられたことでクリスマスにチキンを食べる習慣が日本に定着したこと」</p>	<p>長文読解</p> <p>「バイキングは全盛期には北ヨーロッパを支配下に治めるほどであったが、甘い物を食べるようになって、ひどい虫歯や歯の感染症に苦しめられたものの、虫歯を抜いたり、歯の間に詰まったものを取り除くためにつまようじを使用したりすることで彼らの歯は私たちの予想より良好だったこと」</p>	<p>長文読解</p> <p>「17世紀の有名な哲学者であるスピノザはオランダのアムステルダムで生まれ、ユダヤ人であるためユダヤ教の勉強に取り組んだものの、やがてその教えに疑問を抱くようになり、ユダヤの社会から破門されたが、『エチカ』などの哲学書の執筆や生業であるレンズ作りに励んだこと」</p>
〔Ⅲ〕	<p>長文読解</p> <p>「肉を食するようになった結果、脳が大きくなり現在の人類があるのだという学説は現在では疑問視されており、加熱処理など調理法が大きく変化したことにより、消化しやすくなったことなどが大きな要因だとする学説が主流となっていること」</p>	<p>長文読解</p> <p>「フェルプスが偉大な水泳選手であったのは短足胴長なため水泳に向いていたからで、エルグラーズが偉大な陸上選手であったのは足が長く胴が短かいため中距離走に向いていたことであることから、自分たちの遺伝子や生まれつきの才能に合った環境を選ぶことの重要性」</p>	<p>長文読解</p> <p>「筆者によれば、世間にはどんな人とでもつながり、会話を円滑に続かせるスーパーコミュニケーターと呼ばれる人たちがいるが、彼らはそうすることを可能にする技術を習得した人たちであり、相手の何気ない反応から相手の望むものを読み取り、状況を一変させることができること」</p>	<p>長文読解</p> <p>「世間には遅刻の常習者も珍しくないが、遅刻の原因となる要因として、良く知っている場所だと所要時間を低く見積もるとか、音楽や混雑などの環境的な要因や人間性、複数の仕事を同時にやっていることなどが挙げられることと、その防止策の一例の紹介」</p>	<p>長文読解</p> <p>「デジタル化に伴い、DBL(digital body language)がZ世代(デジタル機器に精通している1990年から2010年の間に生まれた人々)の中から生まれているが、その有効なやり方は従来の良いコミュニケーションの取り方と変わらず、実際に会って分かり合うことが最も良いこと」</p>	<p>長文読解</p> <p>「イギリス社会ではプライバシーが尊重されるため、直截的な質問をすることは避けざるをえず、その結果として聞きたい返答を得るためにかなり回り道をするこゝになり面倒なので、相手が推理できるようなヒントを会話の中に入れるのが暗黙のルールとなっていること」</p>

(注) 2月4日実施の学部独自日程の問題は昨年度より割愛

● 関西学院大 出題内容分析 (全体)

順位	内容	設問数	占有率
1	英文中の語句の意味など	84 (77)	25% (23%)
2	英文中の空所補充	62 (70)	18% (21%)
3	会話文	60 (60)	18% (17%)
3	文法・語法など	60 (60)	18% (17%)
5	内容把握問題など	44 (45)	13% (14%)
6	語句の整序問題	18 (18)	5% (5%)
7	英文和訳問題など	8 (8)	2% (2%)
8	英作文	4 (4)	1% (1%)

(注) 総出題数は6学部計340題 (昨年度は342題)

(注) 2月5日実施の共通テスト利用入試などは除く

● 文法・語法問題内容分析

順位	内容	出題数	占有率
1	イディオム・構文	15 (20)	25% (33%)
1	語法・語い	15 (8)	25% (13%)
3	関係詞	8 (5)	13% (8%)
4	仮定法・時制	6 (7)	10% (12%)
5	準動詞	5 (7)	8% (12%)
6	接続詞・前置詞	4 (4)	7% (7%)
7	比較	2 (2)	3% (3%)
8	その他	5 (7)	8% (12%)

(注) 設問数は今年度は6学部で計60題、昨年度(カッコ内)も60題の出題

● 英文中空所補充問題内容分析

順位	内容	出題数	占有率
1	文脈	34 (31)	55% (44%)
2	文脈+文法・語法	17 (16)	27% (23%)
3	文脈+イディオム	11 (23)	18% (33%)

(注) 総出題数は今年度は6学部で計62題、昨年度(カッコ内)は70題の出題

(注) 3つの表とも2月5日の共通テスト利用入試などは除く

● 会話文問題内容分析

順位	内容	出題数	占有率
1	文脈	31 (25)	52% (42%)
2	文脈+(口語的)イディオム	21 (25)	35% (42%)
3	文脈+文法・語法	8 (10)	13% (17%)

(注) 総出題数は今年度は6学部で計60題、昨年度(カッコ内)も60題の出題

(注) 4つの表中のパーセントは全て小数点第一位を四捨五入したもの

● 関西学院大 英文和訳問題

2月3日	①	Only then would we be able to truly respect and honour the generations to come.
	②	The point is true of small AI just as much as it is of the largest AI
2月4日	①	Humans take these things for granted, but computers do not. (these things が何を指すか明確にすること)
	②	These awkward machines could be fast, but they were also difficult to get on and steer
2月5日	①	She knew she would get in trouble, perhaps even end up in prison
	②	During the program, students spend half of their day on academic subjects
2月6日	①	she reasoned that the creatures were upset about the remaining scents in the vehicle
	②	most of us are worried about offending others if we take things without permission
2月7日	①	Why wouldn't it do the same elsewhere? (it が何を指すのかを明確にすること)
	②	for the children, and for the parent seeking to guide them, it is not half so important to know as to feel

(注) 上記はいずれも学部個別日程

(注) 2月5日は共通テスト利用入試など

● 英作文問題

2月3日	30年前にはその新興国と我が国の経済は同じ規模であったが、今や前者は後者の10倍になっている。 Three decades ago the economies of the emerging country and ours ().
2月4日	二か月前から毛糸の手袋を編みはじめ、ようやく完成したのを見て、私はとても嬉しくなった。 I started knitting woolen gloves two months ago, and ().
2月5日	公共交通機関を用いることは、自動車を運転することよりも環境に優しい。 Taking () driving an automobile.
2月6日	ご都合がつくのであれば、明日の顧客との打ち合わせに参加していただけますか？ If () ?
2月7日	もし彼がその面接にもう少し真剣に取り組んでいたら、彼はその仕事を得心したかもしれない。 If he (), he might have got the job.

● 関西学院大の解答となるイディオムなどの例

《会話文編》

《長文読解問題編》

《文法・イディオム/語句の整序問題編》

1	on earth	1	aside from A (= except for A)	1	might as well A as B
2	What a coincidence.	2	reflect on A (= consider A)	2	be used to ~ing
3	make it	3	under investigation (= being researched)	3	keep A from ~ing
4	reach out to A	4	call for A (= require A)	4	clear A of B
5	happen to do~	5	let alone A	5	How come SV~?
6	What about ~ing?	6	put off A (= delay A)	6	beyond one's comprehension
7	would rather+動詞の原形	7	call on A to do~ (= urge A to do~)	7	by all means
8	look forward to A	8	on the horizon (= likely to happen)	8	anything but A
9	pay attention to A	9	be true of A	9	be known by A
10	Come on!	10	set A up (= establish A)	10	the last+名詞+to do~
11	That's not a big deal.	11	pass up A (= miss A)	11	adapt to A
12	get around (=get about)	12	what A is all about (= the essence of A)	12	under no circumstances
13	Why don't you ~?	13	turn out to be C (= prove to be C)	13	be native to A
14	adapt to A	14	be apt to do~	14	wear A out
15	I couldn't agree more.	15	on the grounds of A	15	take great pains
16	anything like that	16	come up with A	16	be forced to do~
17	start out	17	take A for granted	17	remind A of B
18	Absolutely.	18	rely on A	18	have no intention to do~
19	guess what	19	free A from ~ing	19	the impact of A on B
20	bother to do~	20	take A into account (= consider A)	20	as such

(注) 長文読解編の()内は解答となる語句

● 同志社大 英語出題内容

	出題内容
[Ⅰ]	《長文読解》 単語の意味・空所補充・語句の意味・語の整序・内容一致など
[Ⅱ]	《長文読解》 単語の意味・空所補充・語句の意味・語の整序・内容一致など 英文和訳（[Ⅰ]か[Ⅱ]のいずれかで出題）
[Ⅲ]	《会話文》 空所補充・英作文

■ 空所補充問題分析

順位	内容	出題数	占有率
1	文脈のみ	18 (19)	41% (41%)
2	文脈 + 文法・構文	13 (17)	30% (37%)
2	文脈+ イディオム	13 (10)	30% (22%)

(注) 総出題数は7学部で計44題 (昨年度は46題)

■ 長文設問内容分析

順位	内容	出題数	占有率
1	語彙の意味	113 (111)	42% (41%)
2	下線部語句・節の意味	50 (42)	18% (15%)
3	英文中の空所補充	44 (46)	16% (17%)
4	内容真偽判定	42 (40)	15% (15%)
5	語句の整序	14 (14)	5% (5%)
6	英文和訳	7 (7)	3% (3%)
7	その他	2 (13)	1% (5%)

(注) 今年度の総出題数は7学部計272題 (1学部平均約39題)

(注) ()内の数値は昨年度のもので7学部計273題 (1学部平均39題)

(注) ()内のパーセントの数値はいずれも小数点第一位を四捨五入したもの

● 同志社大 英文和訳問題

全(理)	It absorbs a significant portion of the sound that hits it, while some of the noise is reflected back into the street or back into the indoor room.
全(文)	People generally overestimate the degree to which other people will share the same concept as them when they're speaking
2月6日	Tests with humans have shown that AI tends to recognize facial patterns and not necessarily the meanings behind them
2月7日	Thirteen of the human burials include only what are believed to be food offerings
2月8日	the diverse impacts of light pollution had yet to be extensively studied
2月9日	whether they're classic books or more modern works, banned books are actually some of the best books for people to read
2月10日	As for Fink, he loves the fact that, after the eraser has been used, some trace usually remains of what was written there before.

● 英作文問題

全(理)	ただ、私生活の多くをネット上に公開するのは気が引ける。
全(文)	あの講義はなかなか勉強になったし、思っていた以上に興味深かった。
2月6日	でもその大変な1年目以降は、もっと自由にスケジュールを選べるようになった。
2月7日	今日ではそれほど一般的ではないかもしれないが、かつては正式な書類は手書きで書かなければならなかった。
2月8日	週末はずっと晴れそうなので、私たちが計画してきたことにぴったりです。
2月9日	手早く昼食をとるだけでも日本のおよそ二倍のお金がかかりました。
2月10日	締め切り直前のプレッシャーがないと、やる気を出すのがより難しくなる。

● 同志社大 英語長文内容

	全学部理系 (2/4)	全学部文系 (2/5)	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日	2月10日
〔Ⅰ〕	<p>長文読解</p> <p>「テニスラケットが練習を重ねるにつれて腕の延長になるように、様々な道具が腕や脚、目、脳などの代わりになり、毎日の生活に欠かせないものとなっているが、それは脳内の感覚機能の地図が書き換えられているということの説明する理論があるということ」</p>	<p>長文読解</p> <p>「言葉に対する概念に違いがある時、理解のくい違いが至る所で起こるが、言葉の意味が時と共に変化することもあり、言葉の持つ曖昧さが概念を不明確なものにするなど、概念の違いは様々な原因で発生し、それは主に人生体験と関係しているということ」</p>	<p>長文読解</p> <p>「猫は感情を表に出さないで、飼主や獣医は痛みのサインを読み取るのが難しいため、AIの研究者や獣医が猫が痛みを感じているかを判断できる機械を開発したが、より正確なものにするためには広範囲で多様なデータを確保することが必要であるということ」</p>	<p>長文読解</p> <p>「2千年前のケルト人の墓地で動物の遺骨が発見され、豚や鶏などと異なり犬や馬がそのままの状態で見つめられていたのは、宗教的・象徴的な意味合いがあり、人間の仲間として感情的な絆を永久に維持するために埋葬されたと考えられているということ」</p>	<p>長文読解</p> <p>「世界中で光害が毎年増加しており、多くの生物が深刻な影響を受けているが、光害は人間にも被害を与え、不眠症や鬱病、肥満の原因になっているので、必要な時だけ光を使うなどの対策が必要であり、戸外の照明を制限する地域もあるということ」</p>	<p>長文読解</p> <p>「禁書は学校や図書館から本を排除する行為であり、アメリカで近年感化されやすい子供や若者を守るという名目で禁書が急増しているが、人種やマイノリティを扱った本も禁じられており、合衆国憲法の市民権を侵害するおそれがあるということ」</p>	<p>長文読解</p> <p>「人は顔の外見で直感的に他人を判断しているが、最近の研究結果で、感情的な顔の表情が第一印象に最も強い影響を与えていることが分かり、他人の意図しない表情から間違った判断を下すこともよくあるということ」</p>
〔Ⅱ〕	<p>長文読解</p> <p>「騒音は世界で2番目に大きな環境による健康被害の原因であり、ガンや糖尿病、肥満、高血圧の原因が騒音の場合があるために、車の騒音を減らすための特殊なバリアフェンスなどのような技術が採用されている国もあるということ」</p>	<p>長文読解</p> <p>「定期的に休みをとることは、元気を取り戻すことができるだけでなく、仕事の生産性を向上させ、より豊かで有意義な人生を楽しむことに役立つ。活動的な趣味の方が受動的な趣味より効率よく精神面だけでなく身体面にも活力を蓄えることができるということ」</p>	<p>長文読解</p> <p>「批判的に読み書きすることは、著作物の正確性や妥当性を評価することであり、それにより絶対的な真実はないという考えに陥る人もいるが、批判的な読書は学問の分野だけでなく、人生で生き残るための技術でもあると筆者は考えているということ」</p>	<p>長文読解</p> <p>「大西洋の海流が遅くなっており、地球の気候モデルを使った新しい研究によると、大西洋の海流が百年以内に完全に止まる可能性があり、その場合、北アメリカやヨーロッパなどの地域は海流から熱を受けとることができなくなり、気温が徐々に低下することが予想されているということ」</p>	<p>長文読解</p> <p>「肺とエラを持つ魚が水中から上陸し、最初の四足類となり、人類を含む多数の種へと進化したが、魚が肺も持つに至ったのは、水中からだけでは十分な酸素を常に吸入できないわけではなく、海面上の空気を吸い込めるように肺が進化したからだということ」</p>	<p>長文読解</p> <p>「豊富な野菜と少なめの肉で調理された日本食は、健康的であるように見えるが、日本人は炭水化物を多く摂取する傾向があるので改善する必要があり、米や家畜の生育過程で排出されるメタンガスの量も多いため、減らす試みが行われているということ」</p>	<p>長文読解</p> <p>「ほとんどの数学者や物理学者が最新のデジタル技術よりも黒板を好んで使うのは、チョークで黒板に書くことにより、明確に考えを把握し、リレーのように問題を解くことで同僚と問題を共有し、数日間再考することができるからであるということ」</p>

● 同志社大 英語長文出典

大問	実施日	SOURCE
1	2月4日	By Chip Colwell, writing for <i>Smithsonian Magazine</i> , February 26, 2024
2	全(理)	By Mikkel Meister, writing for <i>Science Illustrated</i> , February 15, 2024
1	2月5日	By Simon Makin, writing for <i>Scientific American</i> , February 1, 2024
2	全(文)	By Alex Soojung-Kim Pang, writing for <i>Time</i> , February 26, 2024
1	2月6日	By Leila Okahata, writing for <i>Scientific American</i> , December 8, 2023
2		By Stephen Brookfield, <i>Teaching for Critical Thinking</i> , 2012
1	2月7日	By Brian Handwerk, writing for <i>Smithsonian Magazine</i> , February 14, 2024
2		By René van Westen, Henk A. Dijkstra, and Michael Kliphuis, writing for <i>The Conversation</i> , February 9, 2024
1	2月8日	By Lisa Abend, writing for <i>The New York Times</i> , February 15, 2023
2		By Marlowe Starling, writing for <i>Live Science</i> , February 18, 2024
1	2月9日	By Elizabeth Yuko, writing for <i>Reader's Digest</i> , October 19, 2023
2		By Tomoko Otake, writing for <i>The Japan Times</i> , January 28, 2024
1	2月10日	By Bastian Jaeger, writing for <i>The Society for Personality and Social Psychology</i> , December 3, 2021
2		By Theo Zenou and Thomas W. Hodgkinson, writing for <i>Nautilus</i> , January 10, 2024

● 同志社大 長文中の語彙問題

1	inspired (influenced)	48	speculate (★hypothesize)	95	fewer interruptions (fewer disturbances)
2	promote (advertise)	49	domesticate (tame)	96	★ produce a demolition of (deny)
3	evidence (proof)	50	★ locale (place)	97	from the outset (from the beginning)
4	extension (continuation)	51	★ canine (dog)	98	thumbs up or thumbs down (judgment)
5	verbally (orally)	52	★ revere (admire)	99	★ a menagerie of (a variety of)
6	★ scribble (write)	53	over the top (exaggerated)	100	★already-marginalized (under-represented)
7	adolescent (young adult)	54	★ precipitous (dramatic)	101	impressionable (easily influenced)
8	metaphor (image)	55	simulate (imitate)	102	uniform (consistent)
9	★ unison (harmony)	56	★ dilute (reduce)	103	focus (target)
10	roar (★rumble)	57	overly simplified (superficial)	104	on the look-out (checking)
11	annoying (bothersome)	58	per decade (every ten years)	105	frown (displeased face)
12	premature (early)	59	★ fluctuation (swing)	106	humble (simple)
13	harmful (damaging)	60	threshold (limit)	107	★ allure (charm)
14	occupation (profession)	61	★ counterintuitive (unexpected)	108	devote (commit)
15	impulse noise (abrupt noise)	62	★ tally (count)	109	★ intertwine (closely connect)
16	opportunity (possibility)	63	★ emanate (pour out)	110	medium (instrument)
17	★ underpin (support)	64	★ unleash (cause)	111	strike (deeply impress)
18	rough (approximate)	65	standpoint (perspective)	112	rub out (remove)
19	strive (attempt)	66	uninformed (unaware)	113	★ synthesis (intergration)
20	rate (evaluate)	67	mimic (look similar to)		
21	★ variant (form)	68	contaminate (spoil)		
22	talk past (miscommunicate with)	69	★ streak (shoot)		
23	resistant (★immune)	70	primitive (elementary)		
24	run (direct)	71	★ encroach (proceed)		

25	work-obsessed (work-dominated)	72	come in handy (become useful)
26	unpredictable (irregular)	73	juvenile (young animal)
27	absorbing (★engaging)	74	take up (absorb)
28	chain (confine)	75	stage (phase)
29	pay off (be rewarding)	76	get in the way (interfere)
30	crowd out (replace)	77	go away (cease)
31	★ mainspring (driving force)	78	convict (found guilty)
32	★ unravel (reveal)	79	outdated (old)
33	painstakingly (carefully)	80	unique (distinct)
34	validate (confirm)	81	accurate (precise)
35	breed (n) (kind)	82	★ catchall (comprehensive)
36	distinguish (tell the difference)	83	intend (expect)
37	excel (be superior)	84	★ tweak (adjust)
38	vocalize (express)	85	drastic (radical)
39	overcome (★surmount)	86	short of (lacking)
40	shade (influence)	87	★ optimized (ideal)
41	entail (require)	88	certification (licensing)
42	reach a verdict (decide)	89	★ proliferate (increase)
43	shortcoming (imperfection)	90	yield (quantity)
44	ground (base)	91	stick to (follow)
45	unearth (dig up)	92	dominant (controlling)
46	★ deity (divine beings)	93	go together (coexist)
47	firsthand (personal)	94	address (handle)

(注) ()内の語句は解答となる語句

(注) ★印はやや難度の高いと思われる単語

(注) ●印は辞書的な意味では同意語とはいいいにくいものや、主要ではない意味で問われた単語

● 立命館大 英語出題内容

出題内容	
I	長文読解 〔1〕 内容把握 (4問) 〔2〕 内容真偽判定 (5問) 〔3〕 表題 (1問)
II	長文読解 〔1〕 英文中の空所補充 (8問) 〔2〕 指示語の内容 (5問)
III	会話文 〔1〕 会話文中の空所補充 (4問) 〔2〕 会話文中の空所補充 (4問)
IV	文法・語法 (8問)
V	単語 〔1〕 単語の補充 (5問) 〔2〕 同義語の選択 (5問)

■ 大問〔V〕で出題された単語

	2月1日	2月2日	2月3日
〔1〕	occasion	★ teller	composition
	reproduce	advertise	cough
	★ gaudy	tiresome	★ lame
	radical	twinkle	★ usher (n)
	resign	promptly	★ rubble
〔2〕	restore (fix)	deal (trade)	cherish (love)
	freezing (cold)	trace (proof)	★ chuckle (giggle)
	incredibly (unbelievably)	dusty (dirty)	★ remainder (rest)
	★ outfit (costume)	dreadful (terrible)	utterly (completely)
	★ ointment (cream)	★ anguish (agony)	undertake (launch)

	2月4日	2月7日
〔1〕	absolute	sand
	★ misty	vacancy
	toll	exhausting
	preventive	★ synonym
	densely	vibration
〔2〕	adopt (pass)	victory (win)
	★ applause (admiration)	highlight (stress)
	alternative (different)	herd (flock)
	★ adversity (misfortune)	employ (hire)
	★ disrupt (disorganize)	vital (essential)

(注) ()内の語は解答となる単語

★ 難単語と思われるもの

● 立命館大 出題内容分析

順位	出題内容	出題数	占有率
1	語彙	50 (50)	20% (20%)
2	英文中の空所補充	40 (40)	16% (16%)
2	会話文	40 (40)	16% (16%)
2	文法・語法	40 (40)	16% (16%)
5	長文・内容判定	25 (25)	10% (10%)
5	長文・指示語の内容	25 (25)	10% (10%)
7	長文・内容把握	20 (20)	8% (8%)
8	長文・タイトルや要旨	5 (5)	2% (2%)

(注) 総出題数数は5学部で計245題 (5学部×49題) ()内の数値は昨年のも

■ 大問〔IV〕文法・語法の問題分析

順位	内容	出題数	占有率
1	語法	11 (7)	28% (18%)
2	時制・文型	5 (5)	13% (13%)
2	接続詞・前置詞	5 (4)	13% (10%)
2	準動詞	5 (9)	13% (23%)
5	関係詞・疑問詞	3 (3)	8% (8%)
5	代名詞	3 (2)	8% (5%)
7	仮定法	2 (4)	5% (10%)
8	助動詞	1 (1)	3% (3%)
8	受動態	1 (1)	3% (3%)
10	その他	4 (4)	10% (10%)

(注) 総出題数は5学部各8題で計40題

(注) パーセントはいずれも小数点第一位を四捨五入したもの

(注) ()内の数値は昨年度の数値

(注) 準動詞とは、不定詞・分詞・動名詞の総称

● 立命館大 大問〔Ⅱ〕英文中の空所補充問題分析

《A》問われている内容

	内容	出題数	占有率
1	文脈のみ	40 (37)	100% (93%)
2	文脈 + イディオム	0 (3)	0% (7%)

《B》解答となる語句の品詞

	内容	出題数	占有率
1	Discourse Marker	15 (9)	38% (22%)
2	動詞 (句)	11 (7)	28% (17%)
3	名詞 (句)	6 (10)	15% (25%)
4	形容詞 (句)	5 (6)	13% (15%)
5	副詞 (句) など	3 (8)	8% (20%)

(注) Discourse Marker は話の流れを示す「つなぎ語」の意味

(注) 総出題数は5学部各8題で計40題で、()内の数値は昨年のももの

(注) ()内のパーセントの数値は小数点第一位を四捨五入したもの

■ 選択肢中の Discourse Marker の例

in other words	Fortunately
on the other hand	Similarly
as expected	As before
As an example	In contrast
However	Based on A
Therefore	Despite A
Instead	providing that SV~
Nevertheless	In addition to A
Otherwise	as long as SV~
Consequently	SV ... once SV~
In particular	Rather than A
Moreover	SV ... while SV~ (比較対照)

(注) 大文字は文頭で使われた語句を表わす

● 立命館大 英語長文内容 (全学統一方式&学部個別配点方式)

	2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月7日
[I]	<p>長文読解</p> <p>「作曲家であるジョン・ケージの『Organ2/ASLSP』という曲は『できるだけゆっくりと』演奏する曲で、ドイツのとある町では特別なオルガンを用いて639年もかけて演奏されるプロジェクトが進行中であるが、時間の概念に挑戦する試みとして注目されていること」</p>	<p>長文読解</p> <p>「ある女性が海底山を発見し、新たな海洋保護区としての価値を確認することができたが、その一方で、深海採鉱や漁業がその海域の生態系に影響を及ぼしており、保護活動家が保護区における管理の重要性和その実効性を強調していること」</p>	<p>長文読解</p> <p>「1879年にある植物学者が雑草の種が土の中でどのくらい生存するかを調べるため、種の入ったガラス瓶を地中に埋め、それらを定期的に掘り起した結果、100年間も埋まっていた種が発芽することが判明し、2100年まで担当者が世代交代しながら自然の解明のために、この実験が継続予定であること」</p>	<p>長文読解</p> <p>「2021年のサンフランシスコの記録的な豪雨から、アメリカでは雨庭の導入が強化されているが、雨水を地面に浸透させる働きをもつ雨庭は水質汚染問題にも効果的であり、サンフランシスコで雨庭を30箇所設置したところ、洪水対策に大きく貢献したことで、雨庭に今後さらなる活躍が期待されていること」</p>	<p>長文読解</p> <p>「カナエレ沼地はハワイにある唯一の低地湿原で、外来種の植物や豚の侵入で荒廃していたが、生態系を回復させるためにプロジェクトを作り、外来植物を除去し、豚の侵入を防ぐためフェンスを設置するなどの対策を講じた結果、在来植物は自然に回復し、生態系が復元されたこと」</p>
[II]	<p>長文読解</p> <p>「研究者が北米の馬の歴史を調査するため、考古学的記録や先住民の口承内容を分析したところ、馬は従来の記録よりも早くアメリカ西部へ広まっていたことが判明し、先住民にとって馬は重要な存在であり、また今後考古学を研究する上で動物の骨などの遺物を貴重に扱うべきという主張があること」</p>	<p>長文読解</p> <p>「ある建築研究者は建築材料の製造時や組み立て・解体時に排出される二酸化炭素を表す『内包炭素』から建物の環境コストを評価しているが、従来の省エネルギー住宅は内包炭素量が多い場合があり、環境に与える影響について再考する必要があると訴えていること」</p>	<p>長文読解</p> <p>「スタンフォード大学のある教授は、交渉を『戦い』ではなく、『問題解決へ向けた協力』と捉えるべきと考え、実験した結果、交渉が不得手な女性が会議室で交渉するよりも、相手と並んで歩きながら交渉を行う方が有利で公平な結果につながると判明したことから、交渉時の環境の工夫が重要であることを説いた文章」</p>	<p>長文読解</p> <p>「ある古生物学者は、化石を分析し、動物の絶滅リスクを考察する上で重要となる、いつ動物が恒温性(自らの体温を一定に保つ性質)を得たかを発見したが、動物への影響が大きい環境問題ではこのような研究を活かして解決することは難しいという主張もあること」</p>	<p>長文読解</p> <p>「地元の食材であるミドリイガイの減少と海洋プラスチック問題に頭を悩ませていたニュージーランドの科学者が、従来のプラスチック製ではなく、植物由来の環境に優しいミドリイガイの養殖に使用するロープを開発したが、このような取り組みは海洋研究全体にとって良い影響を及ぼすと考えられていること」</p>